

第3章 日常生活圏域と地域の状況

高齢者が安心して住みなれた地域で生活を継続できるよう、市の区域を分割した「日常生活圏域」ごとに必要なサービスや社会資源を検討し、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組めます。

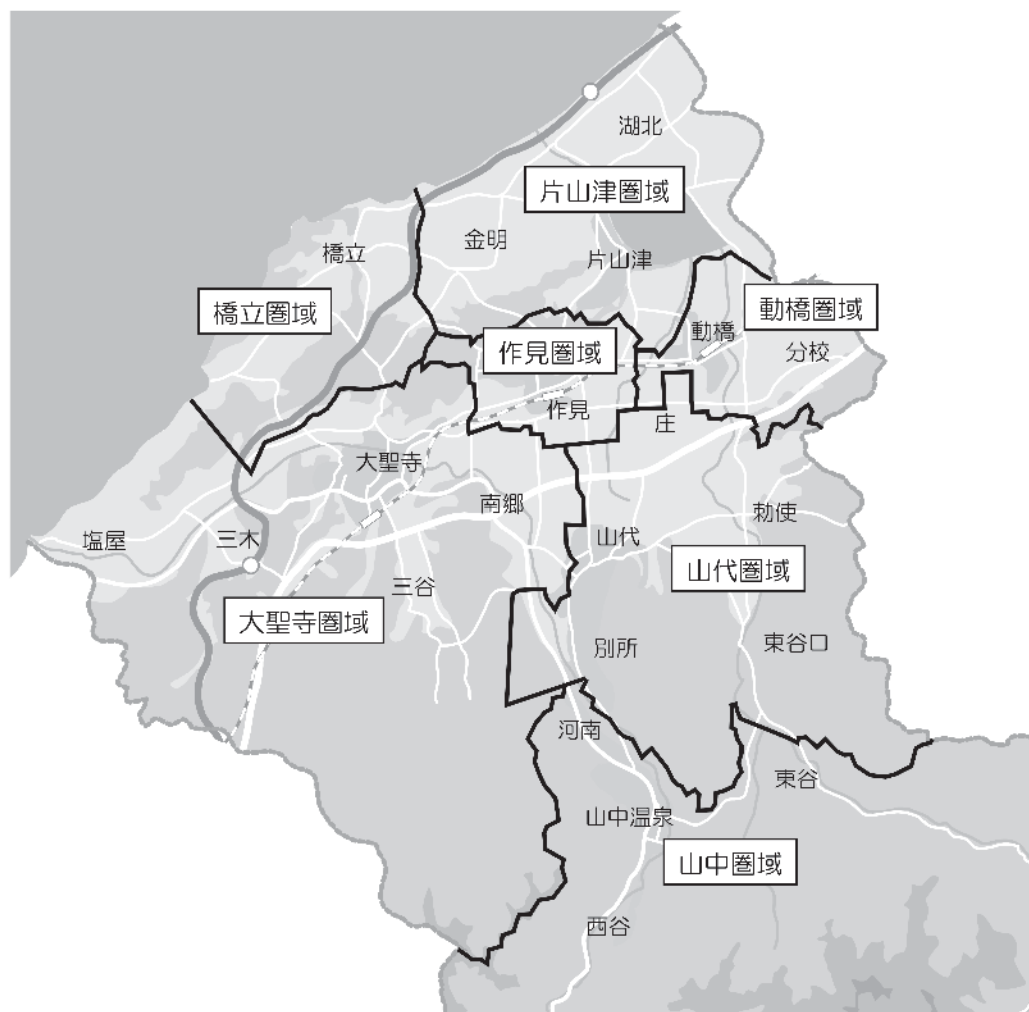
1 日常生活圏域の設定

平成28年（2016）12月に策定された本計画の最上位計画にあたる『第2次加賀市総合計画』においては、加賀市に7つの地域拠点「大聖寺/山代/片山津/動橋/作見/橋立/山中」を位置づけ、周辺地区の都市機能を補完し、地域全体の快適な生活環境が確保できるように基盤確保を推進することとしています。

本計画においても、『加賀市総合計画』における7地域拠点と整合性をとり、第7期計画に引き続き、日常生活圏域は次の7圏域としています。さらに、圏域を細分化した、まちづくり推進協議会単位の21地区を基本として地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいきます。

【日常生活圏域区分】

圏 域	地 区 名
大聖寺圏域	大聖寺地区・三木地区・三谷地区・南郷地区・塩屋地区
山代圏域	山代地区・庄地区・勅使地区・東谷口地区・別所地区
片山津圏域	片山津地区・金明地区・湖北地区
橋立圏域	橋立地区
動橋圏域	動橋地区・分校地区
作見圏域	作見地区
山中圏域	山中温泉地区・河南地区・西谷地区・東谷地区



2

地域の状況

地域包括ケアシステムの構築に取り組み、圏域でのサービス体制を整備、推進するには、各圏域での高齢者を取り巻く状況を把握し、地域ごとの特徴や課題を生かして、地域の人と一緒に考え、地域主体・住民主体で取り組むことが大切です。地域特性に適したサービスの充実の一助とするため、地域の状況として、高齢者に関するデータを圏域別にまとめ、次ページ以降で示します。地区別のデータは資料編に記載します。

(1) 人口の状況

＜圏域別 人口の推移＞

単位：人

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
大聖寺圏域	17,164	16,991	16,706	16,491	16,263	16,024	15,786	15,543	14,282	12,938	11,623
0～39歳	1,719	1,696	1,637	1,586	1,536	1,491	1,440	1,395	1,243	1,058	917
40～64歳	9,288	9,150	8,890	8,766	8,650	8,495	8,345	8,176	7,367	6,567	5,504
65～74歳	2,985	2,903	2,954	2,924	2,702	2,508	2,357	2,238	1,930	1,896	2,115
75歳以上	3,172	3,242	3,225	3,215	3,375	3,530	3,644	3,734	3,742	3,417	3,087
山代圏域	16,657	16,375	16,094	15,875	15,650	15,412	15,170	14,922	13,675	12,411	11,152
0～39歳	1,760	1,704	1,619	1,581	1,490	1,434	1,389	1,326	1,087	946	821
40～64歳	9,389	9,174	8,981	8,812	8,696	8,549	8,390	8,250	7,546	6,681	5,672
65～74歳	2,822	2,754	2,753	2,767	2,602	2,468	2,288	2,185	1,955	1,933	2,101
75歳以上	2,686	2,743	2,741	2,715	2,862	2,961	3,103	3,161	3,087	2,851	2,558
片山津圏域	9,073	8,964	8,790	8,652	8,511	8,371	8,221	8,071	7,318	6,560	5,872
0～39歳	1,014	994	956	922	885	859	832	803	659	565	495
40～64歳	4,959	4,869	4,757	4,675	4,602	4,524	4,436	4,364	3,976	3,492	2,942
65～74歳	1,532	1,498	1,473	1,476	1,398	1,305	1,223	1,141	1,002	1,004	1,099
75歳以上	1,568	1,603	1,604	1,579	1,626	1,683	1,730	1,763	1,681	1,499	1,336
橋立圏域	2,812	2,761	2,707	2,659	2,610	2,559	2,504	2,448	2,183	1,930	1,713
0～39歳	315	288	285	269	254	235	220	212	180	148	121
40～64歳	1,519	1,497	1,445	1,418	1,394	1,369	1,346	1,310	1,134	981	812
65～74歳	481	478	474	477	451	422	384	357	315	305	322
75歳以上	497	498	503	495	511	533	554	569	554	496	458
動橋圏域	6,085	6,072	6,089	6,058	6,031	6,004	5,977	5,944	5,770	5,559	5,337
0～39歳	787	785	796	785	782	774	764	755	725	687	662
40～64歳	3,513	3,494	3,475	3,456	3,421	3,404	3,382	3,354	3,252	3,137	2,943
65～74歳	921	883	895	899	852	784	745	714	659	634	713
75歳以上	864	910	923	918	976	1,042	1,086	1,121	1,134	1,101	1,019
作見圏域	7,738	7,663	7,635	7,593	7,549	7,497	7,447	7,394	7,085	6,708	6,271
0～39歳	933	896	881	866	851	835	814	791	716	667	619
40～64歳	4,608	4,548	4,475	4,420	4,374	4,304	4,261	4,222	3,904	3,613	3,249
65～74歳	1,165	1,172	1,225	1,236	1,173	1,140	1,093	1,046	1,018	981	968
75歳以上	1,032	1,047	1,054	1,071	1,151	1,218	1,279	1,335	1,447	1,447	1,435
山中圏域	7,828	7,684	7,490	7,340	7,188	7,032	6,877	6,719	5,952	5,200	4,502
0～39歳	754	721	703	687	660	641	604	585	468	395	328
40～64歳	4,037	3,964	3,830	3,747	3,670	3,578	3,502	3,395	2,996	2,533	2,075
65～74歳	1,331	1,269	1,258	1,254	1,155	1,073	997	948	848	835	848
75歳以上	1,706	1,730	1,699	1,652	1,703	1,740	1,774	1,791	1,640	1,437	1,251

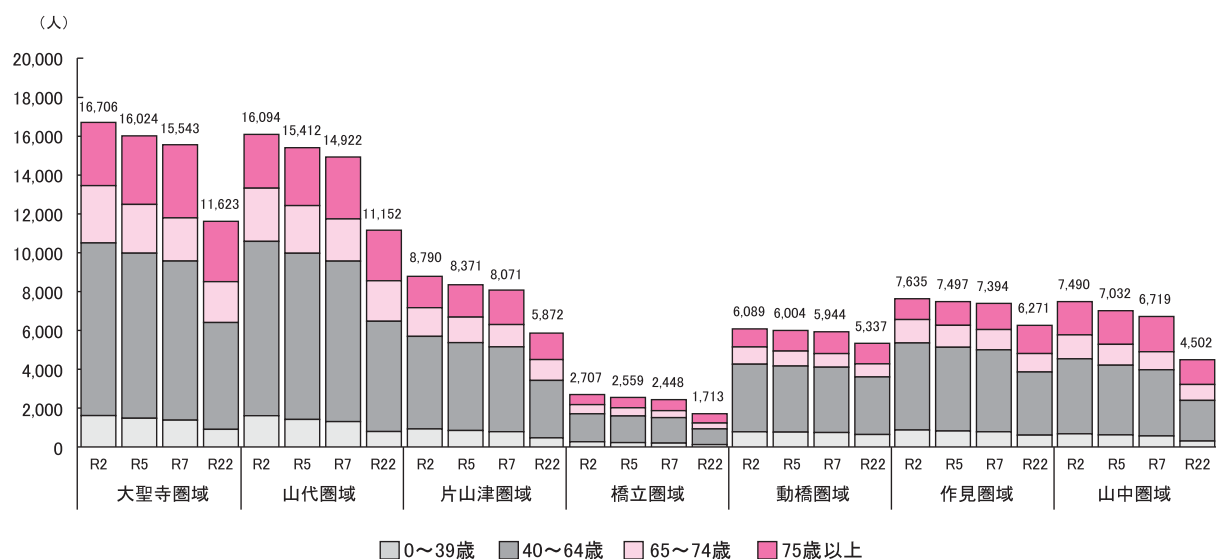
第3章 日常生活圏域と地域の状況

単位：人

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
市全体	67,357	66,510	65,511	64,644	63,750	62,816	61,873	60,904	55,878	50,700	45,605
0～39歳	7,282	7,084	6,877	6,690	6,444	6,245	6,029	5,821	4,937	4,228	3,630
40～64歳	37,313	36,696	35,853	35,281	34,777	34,185	33,613	33,016	30,027	26,786	22,826
65～74歳	11,237	10,957	11,032	11,032	10,335	9,705	9,090	8,631	7,747	7,612	8,175
75歳以上	11,525	11,773	11,749	11,641	12,194	12,681	13,141	13,436	13,167	12,074	10,974

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

※令和3年以降は、推計値（圏域ごとに推計しているため、圏域合算と市全体の推計は一致しません）



(2) 高齢者数と高齢化率の状況

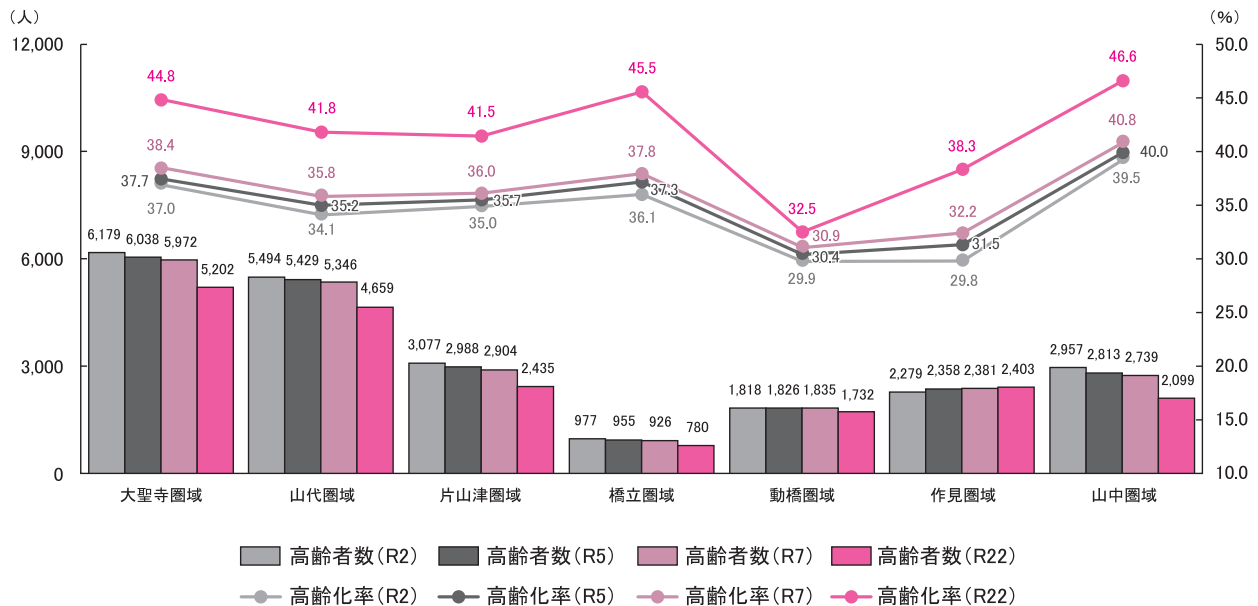
＜圏域別 高齢者数と高齢化率の推移＞

単位：上段・人、下段・%

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
大聖寺圏域	6,157	6,145	6,179	6,139	6,077	6,038	6,001	5,972	5,672	5,313	5,202
高齢化率	35.9%	36.2%	37.0%	37.2%	37.4%	37.7%	38.0%	38.4%	39.7%	41.1%	44.8%
山代圏域	5,508	5,497	5,494	5,482	5,464	5,429	5,391	5,346	5,042	4,784	4,659
高齢化率	33.1%	33.6%	34.1%	34.5%	34.9%	35.2%	35.5%	35.8%	36.9%	38.5%	41.8%
片山津圏域	3,100	3,101	3,077	3,055	3,024	2,988	2,953	2,904	2,683	2,503	2,435
高齢化率	34.2%	34.6%	35.0%	35.3%	35.5%	35.7%	35.9%	36.0%	36.7%	38.2%	41.5%
橋立圏域	978	976	977	972	962	955	938	926	869	801	780
高齢化率	34.8%	35.3%	36.1%	36.6%	36.9%	37.3%	37.5%	37.8%	39.8%	41.5%	45.5%
動橋圏域	1,785	1,793	1,818	1,817	1,828	1,826	1,831	1,835	1,793	1,735	1,732
高齢化率	29.3%	29.5%	29.9%	30.0%	30.3%	30.4%	30.6%	30.9%	31.1%	31.2%	32.5%
作見圏域	2,197	2,219	2,279	2,307	2,324	2,358	2,372	2,381	2,465	2,428	2,403
高齢化率	28.4%	29.0%	29.8%	30.4%	30.8%	31.5%	31.9%	32.2%	34.8%	36.2%	38.3%
山中圏域	3,037	2,999	2,957	2,906	2,858	2,813	2,771	2,739	2,488	2,272	2,099
高齢化率	38.8%	39.0%	39.5%	39.6%	39.8%	40.0%	40.3%	40.8%	41.8%	43.7%	46.6%
市全体	22,762	22,730	22,781	22,673	22,529	22,386	22,231	22,067	20,914	19,686	19,149
高齢化率	33.8%	34.2%	34.8%	35.1%	35.3%	35.6%	35.9%	36.2%	37.4%	38.8%	42.0%

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

※令和3年以降は、推計値（圏域ごとに推計しているため、圏域合算と市全体の推計は一致しません）

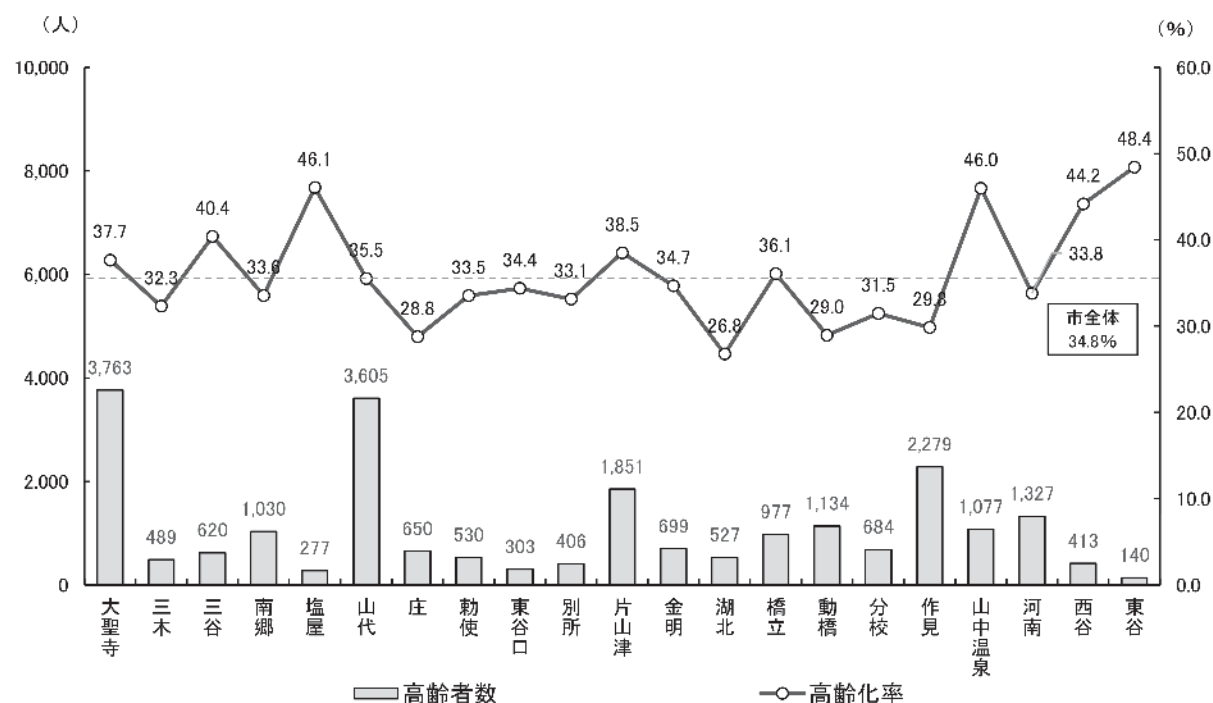


<地区別 高齢者数と高齢化率（施設入所者除く）>

単位：人

地区	高齢者数	高齢化率	地区	高齢者数	高齢化率	地区	高齢者数	高齢化率
大聖寺地区	3,763	37.7%	勅使地区	530	33.5%	勸橋地区	1,134	29.0%
三木地区	489	32.3%	東谷口地区	303	34.4%	分校地区	684	31.5%
三谷地区	620	40.4%	別所地区	406	33.1%	作見地区	2,279	29.8%
南郷地区	1,030	33.6%	片山津地区	1,851	38.5%	山中温泉地区	1,077	46.0%
塩屋地区	277	46.1%	金明地区	699	34.7%	河南地区	1,327	33.8%
山代地区	3,605	35.5%	湖北地区	527	26.8%	西谷地区	413	44.2%
庄地区	650	28.8%	橋立地区	977	36.1%	東谷地区	140	48.4%

資料：住民基本台帳（令和2年10月1日現在）



(3) 高齢者単身世帯・高齢者のみ世帯の状況

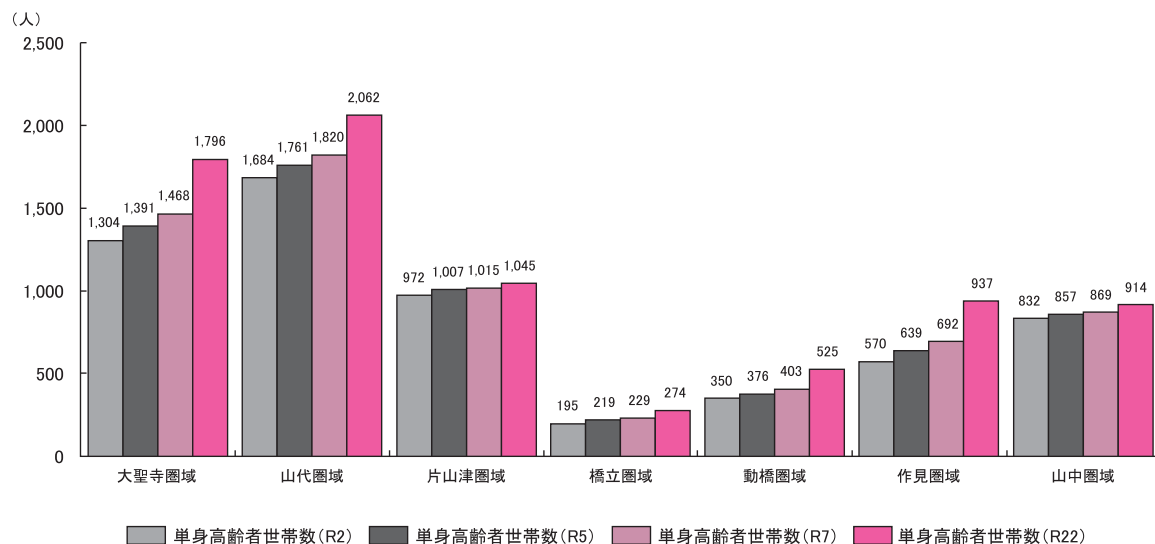
<圏域別 単身高齢者世帯数の推移（施設入所者除く）>

単位：世帯

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
大聖寺圏域	1,245	1,387	1,304	1,318	1,354	1,391	1,429	1,468	1,570	1,679	1,796
山代圏域	1,625	1,768	1,684	1,704	1,732	1,761	1,790	1,820	1,897	1,977	2,062
片山津圏域	976	1,030	972	999	1,003	1,007	1,011	1,015	1,025	1,035	1,045
橋立圏域	192	235	195	209	214	219	224	229	244	259	274
動橋圏域	330	366	350	350	363	376	389	403	440	480	525
作見圏域	519	606	570	590	614	639	665	692	765	847	937
山中圏域	831	908	832	845	851	857	863	869	884	899	914
市全体	5,718	6,300	5,907	6,284	6,343	6,403	6,463	6,524	6,679	6,838	7,001

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

※令和3年以降は、推計値（圏域ごとに推計しているため、圏域合算と市全体の推計は一致しません）

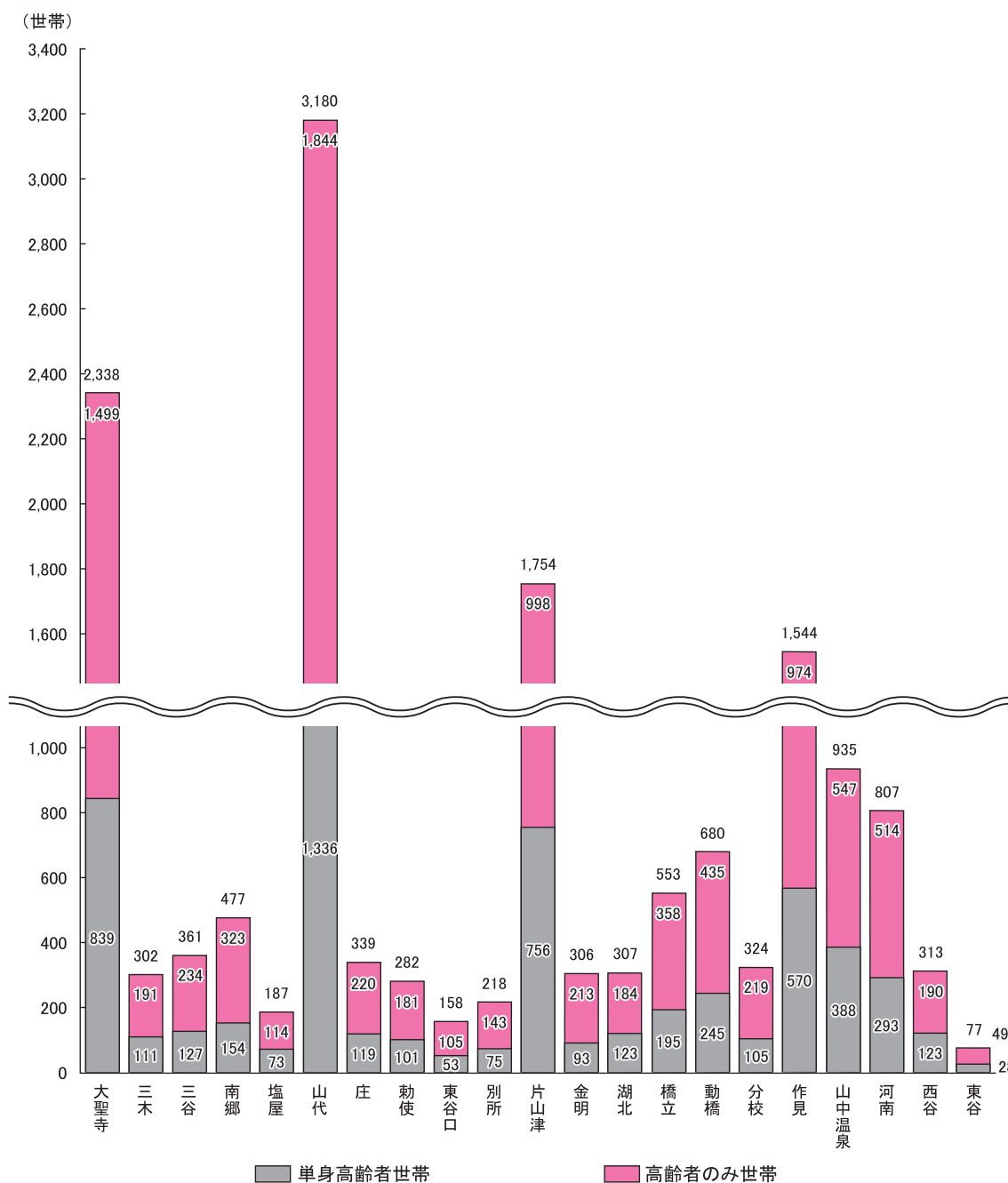


＜地区別 高齢者のみ世帯及び単身世帯数（施設入所者除く）＞

単位：世帯

地区	高齢者のみ世帯数 (うち単身世帯数)	地区	高齢者のみ世帯数 (うち単身世帯数)	地区	高齢者のみ世帯数 (うち単身世帯数)
大聖寺地区	1,499 (839)	勅使地区	181 (101)	動橋地区	435 (245)
三木地区	191 (111)	東谷口地区	105 (53)	分校地区	219 (105)
三谷地区	234 (127)	別所地区	143 (75)	作見地区	974 (570)
南郷地区	323 (154)	片山津地区	998 (756)	山中温泉地区	547 (388)
塩屋地区	114 (73)	金明地区	213 (93)	河南地区	514 (293)
山代地区	1,844 (1,336)	湖北地区	184 (123)	西谷地区	190 (123)
庄地区	220 (119)	橋立地区	358 (195)	東谷地区	49 (28)
				市全体	9,535 (5,907)

資料：住民基本台帳（令和2年10月1日現在）



(4) 要介護認定者数と認定率の状況

＜圏域別 要介護認定者数と認定率の推移＞

単位：上段・人、下段・%

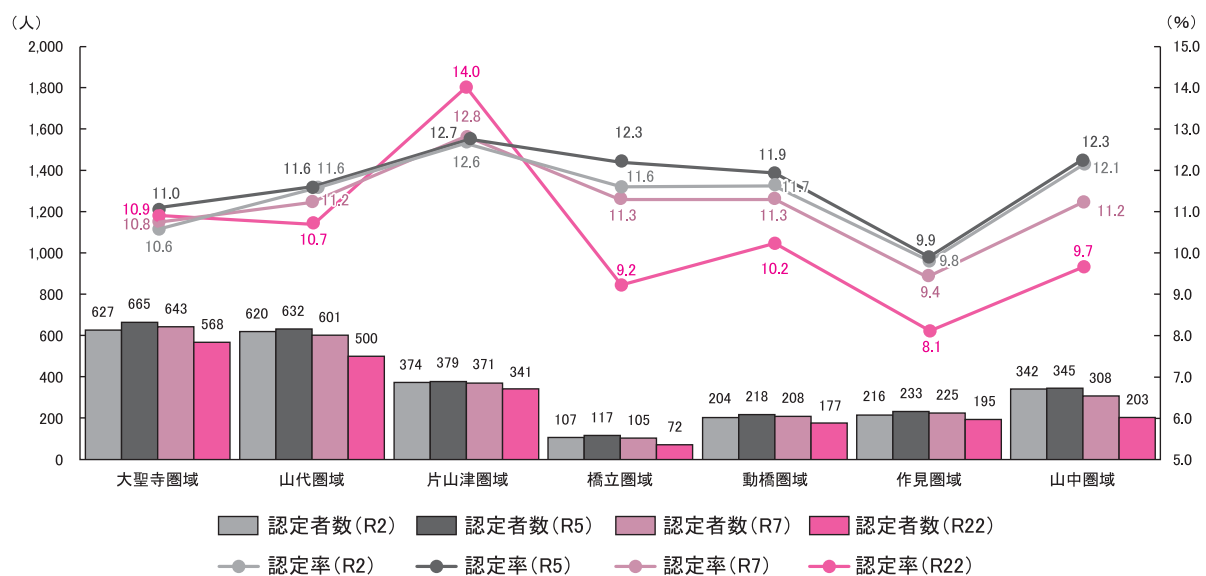
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
大聖寺圏域	662	659	627	687	676	665	654	643	618	593	568
認定率	11.2%	11.1%	10.6%	11.2%	11.1%	11.0%	10.9%	10.8%	10.9%	11.2%	10.9%
山代圏域	635	605	620	664	648	632	616	601	566	531	500
認定率	11.9%	11.3%	11.6%	12.1%	11.9%	11.6%	11.4%	11.2%	11.2%	11.1%	10.7%
片山津圏域	374	378	374	388	383	379	375	371	361	351	341
認定率	12.5%	12.6%	12.6%	12.7%	12.7%	12.7%	12.7%	12.8%	13.5%	14.0%	14.0%
橋立圏域	125	125	107	130	123	117	111	105	92	82	72
認定率	13.6%	13.5%	11.6%	13.3%	12.8%	12.3%	11.8%	11.3%	10.6%	10.2%	9.2%
動橋圏域	222	213	204	229	223	218	213	208	197	187	177
認定率	12.9%	12.2%	11.7%	12.6%	12.2%	11.9%	11.6%	11.3%	11.0%	10.8%	10.2%
作見圏域	216	209	216	241	237	233	229	225	215	205	195
認定率	10.3%	9.8%	9.8%	10.5%	10.2%	9.9%	9.7%	9.4%	8.7%	8.4%	8.1%
山中圏域	391	367	342	386	365	345	326	308	268	233	203
認定率	13.5%	12.8%	12.1%	13.3%	12.8%	12.3%	11.8%	11.2%	10.8%	10.3%	9.7%
市全体（自然体）	3,561	3,491	3,452	3,517	3,599	3,644	3,679	3,706	3,822	3,836	3,672
認定率	15.6%	15.4%	15.2%	15.5%	16.0%	16.3%	16.5%	16.8%	18.3%	19.5%	19.2%
市全体（対策反映）	3,561	3,491	3,452	3,448	3,420	3,432	3,426	3,405	3,510	3,530	3,400
認定率	15.6%	15.4%	15.2%	15.2%	15.2%	15.3%	15.4%	15.4%	16.8%	17.9%	17.8%

資料（各圏域）：住民基本台帳（各年10月1日現在）※第2号要支援・要介護認定者を含む

※各圏域の実績値（平成30年～令和2年）は施設入居者を除いた数

資料（市全体）：介護保険事業状況報告（各年9月末現在）※第2号要支援・要介護認定者を含む

※令和3年以降は推計値（圏域ごとに推計しているため、圏域合算と市全体の推計は一致しません）



(5) 認知症高齢者数と認知症高齢者率の状況

＜圏域別 認知症高齢者数と認知症高齢者率の推移（施設入所者除く）＞

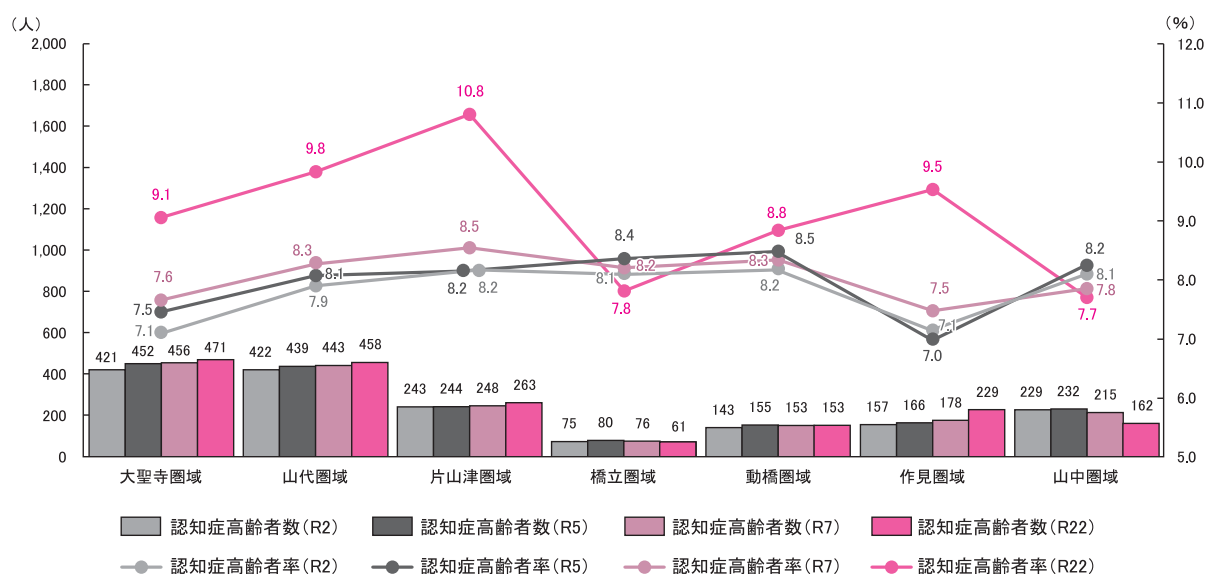
単位：上段・人、下段・%

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
大聖寺圏域	434	445	421	448	450	452	454	456	461	466	471
認知症高齢者率	7.3%	7.5%	7.1%	7.3%	7.4%	7.5%	7.6%	7.6%	8.1%	8.8%	9.1%
山代圏域	431	410	422	435	437	439	441	443	448	453	458
認知症高齢者率	8.1%	7.6%	7.9%	7.9%	8.0%	8.1%	8.2%	8.3%	8.9%	9.5%	9.8%
片山津圏域	226	242	243	240	242	244	246	248	253	258	263
認知症高齢者率	7.5%	8.1%	8.2%	7.9%	8.0%	8.2%	8.3%	8.5%	9.4%	10.3%	10.8%
橋立圏域	80	85	75	84	82	80	78	76	71	66	61
認知症高齢者率	8.7%	9.2%	8.1%	8.6%	8.5%	8.4%	8.3%	8.2%	8.2%	8.2%	7.8%
動橋圏域	159	153	143	157	156	155	154	153	153	153	153
認知症高齢者率	9.2%	8.8%	8.2%	8.7%	8.5%	8.5%	8.4%	8.3%	8.5%	8.8%	8.8%
作見圏域	138	135	157	155	160	166	172	178	193	209	229
認知症高齢者率	6.6%	6.3%	7.1%	6.7%	6.9%	7.0%	7.3%	7.5%	7.8%	8.6%	9.5%
山中圏域	256	241	229	250	241	232	223	215	195	177	162
認知症高齢者率	8.8%	8.4%	8.1%	8.6%	8.4%	8.2%	8.0%	7.8%	7.8%	7.8%	7.7%
市全体	2,592	2,587	2,550	2,517	2,533	2,549	2,565	2,581	2,631	2,681	2,731
認知症高齢者率	11.4%	11.4%	11.2%	11.1%	11.2%	11.4%	11.5%	11.7%	12.6%	13.6%	14.3%

（各年 10 月 1 日現在）

※各圏域の実績値（平成 30 年～令和 2 年）は施設入居者を除いた数

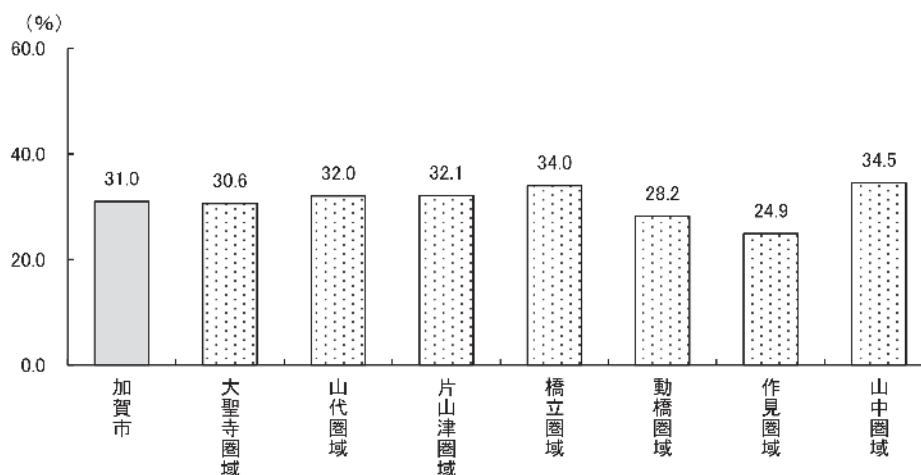
※令和 3 年以降は推計値（圏域ごとに推計しているため、圏域合算と市全体の推計は一致しません）



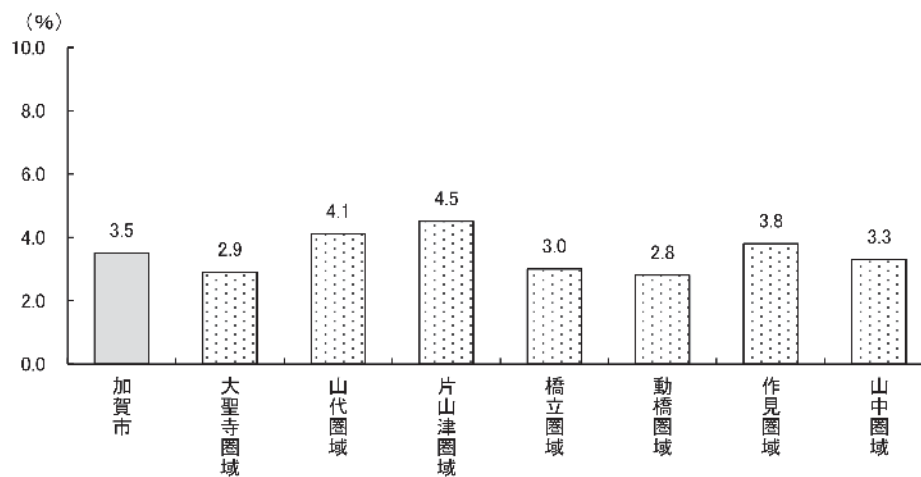
(6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の状況

要支援・要介護認定を受けていない70歳以上の高齢者を対象に行った「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果より、地区別に要介護になるリスクの発生状況を比較しました。圏域により抱える課題が異なることが分かります。

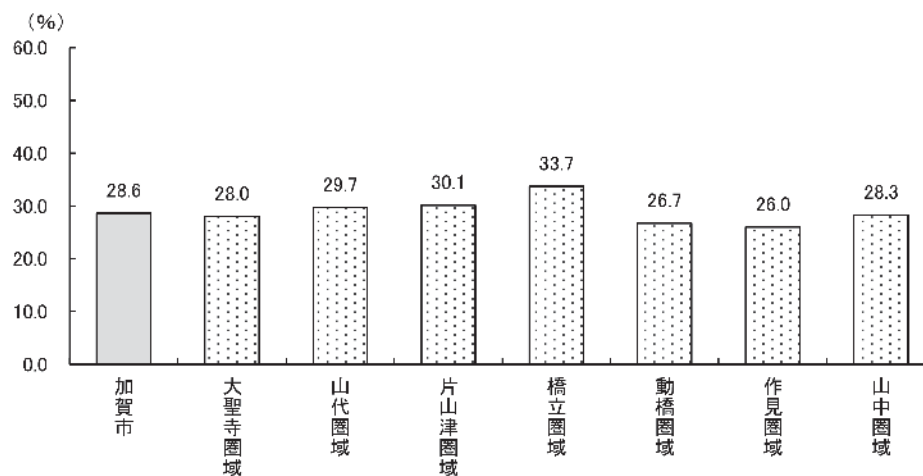
① 足腰など筋力の低下している者の割合（令和元年度（2019） 圏域別比較）



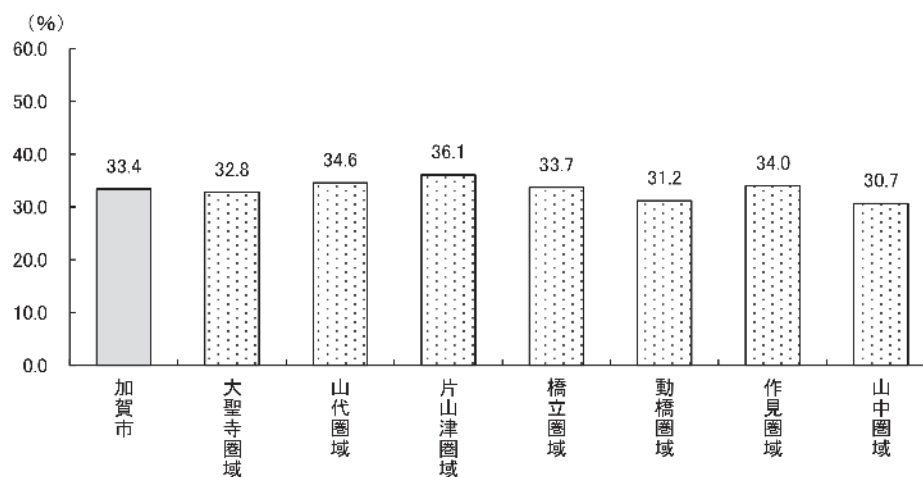
② 栄養が足りていないおそれのある者の割合（令和元年度（2019） 圏域別比較）



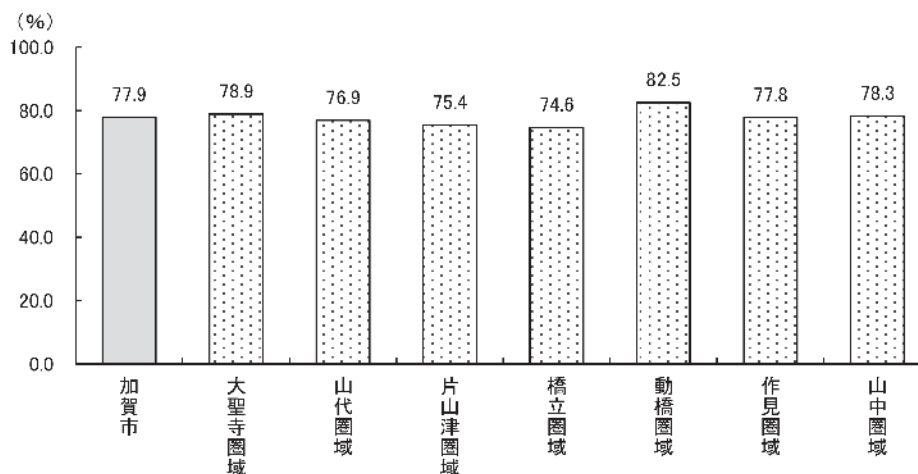
③ 口腔機能が低下している者の割合（令和元年度（2019） 圏域別比較）



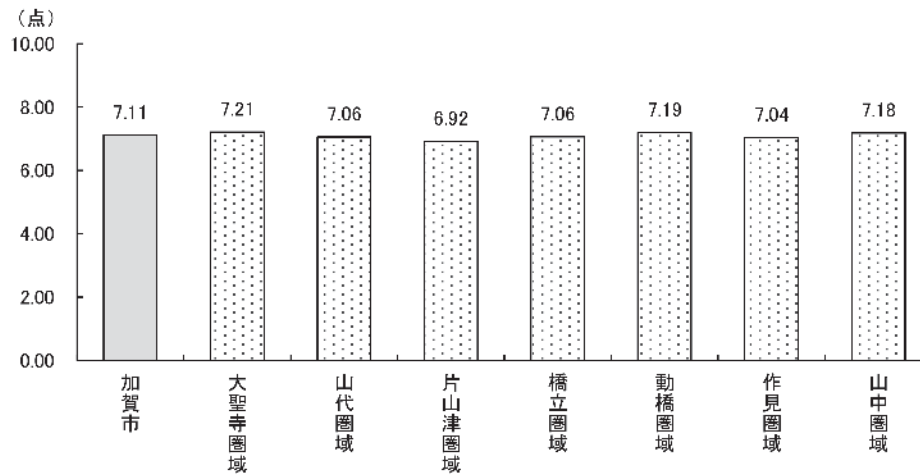
④ 認知機能の低下が見られる者の割合（令和元年度（2019） 圏域別比較）



⑤ 主観的健康感（令和元年度（2019） 圏域別比較）※「とてもよい」と「まあよい」の合計

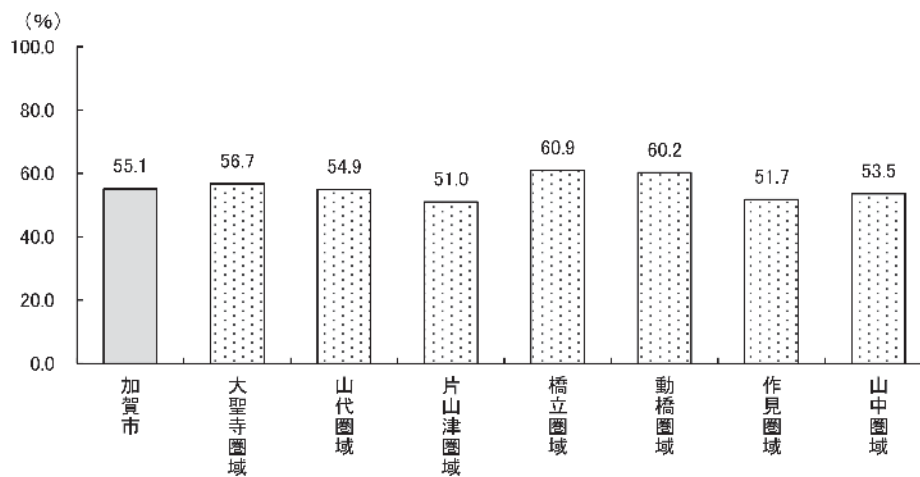


⑥ 主観的幸福感（令和元年度（2019） 圏域別比較）※平均点（10点満点）



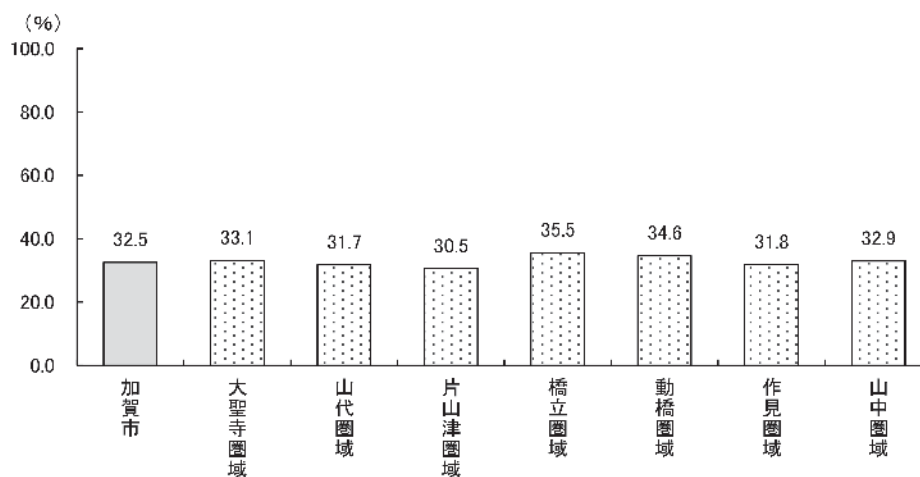
⑦ 健康づくり活動への「参加者として」の参加意向がある者の割合

（令和元年度（2019） 圏域別比較）※「ぜひ参加したい」と「参加しても良い」の合計



⑧ 健康づくり活動への「企画・運営として」の参加意向がある者の割合

（令和元年度（2019） 圏域別比較）※「ぜひ参加したい」と「参加しても良い」の合計



コラム：地域包括ケアの「植木鉢」

地域包括ケアシステムを構成する要素として、「植木鉢」に例えられた構成図が国から一般的に示されています。構成要素は、「鉢」「土」「葉」「皿」の4つです。

「鉢」となるのは、「すまいとすまい方」で、生活の基盤として必要な住まいが整備され、どのようにそこに住むのかという住まい方が確保されていることが地域包括ケアシステムの前提となります。「土」となるのは、「介護予防・生活支援」で、植木鉢に満たされて、かつ、植えられる植物が育つために必要な養分を含んだ「土」と例えられます。介護予防は従来の要介護状態にならないための介護予防ではなく、社会参加することが介護予防につながるためのものであるという捉え方に基きます。「葉」となるのは、「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・福祉」で、植木鉢と土があってこそ成り立ちます。「皿」となるのは、「本人の選択と本人・家族の心構え」で、自己決定権の保障や、人及び家族がしっかりと考え、共に理解し、そのための心構えを持つことが重要とされています。

「介護予防・生活支援」という「土」が豊かでない（機能しない）ところでは、専門職が提供する「医療」や「介護」「保健・福祉」を植えても、それらは充分な力を発揮することなく枯れてしまいます。それぞれが連動し、本人の選択、本人・家族の心構えの元、一体的に提供される体制を作り上げていきます。

<地域包括ケアシステムの植木鉢について>



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年